

# 東日本ユニオンにいがた

http://niigatachihon.yukigesho.com/

JR東日本労働組合新潟地方本部

2021年12月20日発行

第13号 (通巻第199号)

発行者: 星山 圭 編集者: 教育・広報部

## 酒田駅出札窓口を廃止し要員4名減

### 駅における販売体制の見直しについて 提案団体系交渉

新潟地本は12月15日に団体交渉を行い、支社側より「駅における販売体制の見直しについて」の提案を受けました。

酒田駅に「話せる指定席券売機」を導入することで出札窓口を廃止し、社員の配置を見直すことでより柔軟な働き方を実現するというものです。

これにより酒田駅の要員を4名減とさせていただきます。

## 秋田地本でJR採用の仲間が加入!



### 新たな仲間と共にならぼう!

今回発生した事象について原因・背後要因を明らかにするよう求め、列車の走行による繰り返し荷重により、締結装置が脱落したものと推定されるとの回答を受けました。



現在3台ある自動券売機のうち1台を置き換え、話せる指定席券売機1台、MV1台、近距離用のEV1台とするとしました。

## 原因究明と再発防止を求め議論

新潟地本は11月2日、申1号・磐越西線で発生した事象を踏まえた安全安定運行を求め緊急申し入れの団体交渉を行いました。

8月4日に発生した磐越西線東下条〜五十島駅間においてレール締結装置が16カ所外れていた事象について原因究明と再発防止を求め議論を行いました。

今回発生した事象について原因・背後要因を明らかにするよう求め、列車の走行による繰り返し荷重により、締結装置が脱落したものと推定されるとの回答を受けました。

会社資料では15カ所とされた脱落について、組合側からすれば異常であるとは捉えられず、支社側は、検査等も行っていただけで外れてしまったとしました。

先行して導入された浦佐駅で問題は生じていないのか質すと支社側は、苦情などの問題は生じていないと回答しました。



支社側は、主幹が保線技術センターであり現地を確認するまでは抑止をかけて安全を確保する方針をとったとしました。

支社側は、主幹が保線技術センターであり現地を確認するまでは抑止をかけて安全を確保する方針をとったとしました。

## 団体交渉の日程決定!

申5号 「変革2027を踏まえた新たなジョブローテーション」 実施後の検証に関する申し入れ

2021年12月24日(金) 9時30分より

団体交渉に向けて 職場からたたかいて作りだそう!

